

# 生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社パワートレイン

<b>B. 組織マネジメント</b>	<b>組織力強化</b>	<b>成果を上げる業務改善</b>
--------------------	--------------	-------------------

コースのねらい	生産工場に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 業務改善と業務の可視化	(1) 業務改善の目的 業務改善を進めていく上での目的とゴール設定を明確に設定することで、業務改善の必要性を組織の全員に強く認識させる必要性について説明。 【狙い】参加者への当事者意識の醸成と現場への落とし込み力の向上。	0.5
		(2) 取組事例の紹介 実際に業務改善活動に取り組んだ企業の実例を紹介。 【狙い】自社における業務改善の成果についてイメージを膨らませる。	0.5
		(3) 業務の「可視化」「見える化」 今現在の業務がどのように進んでいて、どのような成果が出ているのかを具体的に把握するための「可視化」、そして従業員全員が直感的に理解できるようにするための「見える化」をするための手法について説明。生産活動にかかる実際の業務の流れを業務記述書形式で文書化し、それをもとに業務フローにて図式化する。 【狙い】現状を正確に把握し、課題認識を統 させる手法を学ぶ。	0.5
		(4) 業務の可視化演習【演習あり】 生産活動にかかる実際の業務の流れを業務記述書形式で文書化し、それをもとに業務フローにて図式化する。	1.0
	2 業務改善手法	(1) 業務プロセスの改善の基礎 業務を可視化することで見えてきた課題点を分類し、主となる課題点に対してどのように対応するかを考えるための「ECRSの法則」を説明。 【狙い】業務改善に向けた課題と対処法を体系的に学ぶ。	1.0
		(2) 業務評価の手法 業務改善が行われたかどうかを測定するためのKP!、KG!の設定とそれらを測定するための手法について説明。 【狙い】業務改善の結果を可視化するための手法を学ぶ。	0.5
		(3) 現状及び原因の分析演習【演習あり】 業務課題の分類を行った上でECRSの法則に則り、個別の対処法を整理する。	1.0
		(4) 業務の問題発見手法とケ ススタディ【演習あり】 あるべき姿(Vision)を設定し、そのVisionに照らし合わせた現状を把握する。Visionと現状のGAPを明確にする。GAPを問題と捉え、どのように解決するか?を考える。また、ある業務についてのビジョンと現状を描いたシナリオを配布した上で、シナリオからGAPを解決するための方法を検討する。	1.0
		合計時間	6.0